



UoA News ⑫

※学生の学年等は受賞時のものです。

会津大学の教員が共著者となった小惑星探査機「はやぶさ2」の観測成果に関する論文がサイエンス電子版に掲載されました

2020年5月8日、Science電子版に、本学の宇宙情報科学研究センター所属教員3名を含む、本学教員4名が共著者となる論文が掲載されました。

この論文では、「はやぶさ2」が小惑星リュウグウヘタッチダウンした際に得られたデータから、小惑星リュウグウを覆っている岩石や砂礫の層が、太陽による強い風化作用を受けていることや、風化を受けた物質を含む層が、全体に数メートルの厚さで存在していることなどの発見を報告したものです。

■論文名 Sample collection from asteroid 162173 Ryugu by Hayabusa2: implications for surface evolution (「はやぶさ2」のタッチダウンで観測された小惑星リュウグウ表面の擾乱とそれから示唆される表層と軌道の進化史)

■主著者 諸田 智克氏(東京大学 准教授)

共著者※ 本田 親寿(准教授)

平田 成(上級准教授)

北里 宏平(准教授)

大竹 真紀子(教授)

※会津大学教員のみ抜粋、論文の著者順

会津大学卒業生が卒業論文のプロジェクトをKickstarterで公開しました



2019年度卒業生の山口栄太さんが、荊雷上級准教授の研究室で開発し卒業論文のプロジェクトとしたウェアラブルモーショントラッカー「WonderSense」を2020年4月1日にKickstarterで公開し、出資支援を募りました。

期日までにはプロジェクトのファンディング目標に達しませんでしたでしたが、引き続き、商業化に挑戦していくことを期待します。

会津大学生とOBが『福島テイクアウトマップ』アプリを開発しました



新型コロナウイルス対策で営業自粛をする福島県内の飲食店を応援するため、会津大学のサークル「Aizu Active Association」に所属する学生と会津大OBの5名が、Webアプリ『福島テイクアウトマップ』を開発しました。

『福島テイクアウトマップ』は、地図上や店舗一覧からテイクアウトや宅配を実施している飲食店を確認することができます。

高良聡さんが在学中に投稿した論文が優秀論文賞を受賞しました



本学修士課程(LSI設計学講座 東原研究室)を修了した高良聡さんが、在学中に投稿し、2019年1月の電気学会論文誌Cに掲載された論文が評価され、2020年4月22日に一般社団法人電気学会東北支部長賞(優秀論文賞)を受賞しました。

株式会社河京様から会津大学生へのラーメン等の支援について



株式会社河京様から、新型コロナウイルスの影響で困っている本学学生を支援するため、ラーメン等の物資をいただきました。

2020年4月30日いただいた物資は、5月2日に学生へ配付しました。

株式会社石井商店様と株式会社リオンドール・コーポレーション様から会津大学生への米の支援について



株式会社石井商店様と株式会社リオンドール・コーポレーション様から、コロナウイルスの影響で困っている本学学生を支援するため、米500kgをいただきました。

2020年4月30日いただいた物資は、5月2日に学生へ配付しました。

喜多方ロータリークラブ様から会津大学生への寄附について



2020年5月26日、学生生活支援寄附金の贈呈式が行われ、喜多方ロータリークラブ会長の高橋周様から宮崎理事長兼学長に寄附金が贈呈されました。

寄附金は、新型コロナウイルスの影響で困っている本学学生を支援するために活用します。

会津よつば農業協同組合様から会津大学生への会津産米の支援について



2020年5月27日、会津よつば農業協同組合代表理事組合長の長谷川正市様が、新型コロナウイルスの影響で困っている本学学生を支援するため、会津産米1,000kgを宮崎理事長兼学長に贈呈しました。

長谷川様からは、本学学生への激励と期待のお言葉をいただき、宮崎理事長兼学長が謝辞を述べました。

中国の大連東軟信息学院様からマスク1,000枚の支援について



2020年5月26日、本学と協定を結び友好のある中国・大連東軟信息学院様から、本学にマスク1,000枚が寄贈されました。同学院とは、2010年から現在まで大連インターンシッププログラムを始め、双方に設置した「イノベーション・ハブ」と呼ばれる国際拠点にてSOVO (Students Office & Venture Office)プロジェクトなど、これまで多数の交流実績があります。いただきましたマスクは学内の保健室に配付しました。

猪苗代ロータリークラブ様から外国人留学生への会津産米の支援について



2020年5月29日、猪苗代ロータリークラブ様による会津大留学生への地元産米贈呈式が開催されました。

贈呈式では、猪苗代ロータリークラブの渡部源衛会長から激励のお言葉とともに精米(30kg×8袋)を宮崎理事長兼学長に贈呈されました。

会津産学懇話会様から会津大学の外国人留学生支援への寄附について



2020年6月2日に行われた会津産学講話会において、会長の大内重行様から会津大学外国人留学生後援会(SAISUA)会長の朱欣先生に寄付金が贈呈されました。

朱欣先生から、感謝の言葉とともに、経済的に困っている外国人留学生のために活用したいと述べました。

さんべ農園様から会津大学生への米の支援について



2020年6月2日、さんべ農園より、新型コロナウイルスの影響で困っている本学学生を支援するための米100kgをいただきました。

いただいたお米は、本学の学食で学生に提供し、学生の生活支援に活用します。

福島発電株式会社様から会津大学生への寄附について



2020年6月12日、学生生活支援寄附金の贈呈式が行われ、福島発電株式会社代表取締役社長の鈴木精一様から宮崎理事長兼学長に寄附金が贈呈されました。

寄附金は、新型コロナウイルスの影響で困っている本学学生を支援するために活用します。

東洋システム株式会社様から会津大学生へのアルファ米等の支援について



2020年6月16日、東洋システム株式会社様から、コロナウイルスの影響で困っている本学学生を支援するため、アルファ米900食分と500mlの飲料水648本等をご提供いただきました。

ご支援いただいた物資は、学生へ配付します。

会津土建株式会社様から会津大学生への寄附について



2020年6月23日、学生生活支援寄附金の贈呈式が行われ、会津土建株式会社常務取締役の菅家忠洋様から宮崎理事長兼学長に寄附金が贈呈されました。

寄附金は、新型コロナウイルスの影響などにより、経済的な面で学生生活に困っている本学学生を支援するために活用します。

会津産学懇話会様からの会津大学生への寄付について



2020年7月1日に開催された会津産学懇話会で、大内重行会長から宮崎理事長兼学長に学生生活支援寄附金が贈呈されました。

寄附金は、新型コロナウイルスの影響などにより、経済的な面で学生生活に不安を抱える本学学生を支援するために活用させていただきます。

湯川村様から会津大学生への湯川産米の支援について



2020年7月2日、湯川村の三澤豊隆村長が来学され、新型コロナウイルスの影響で生活に不安を抱える本学学生を支援するため、湯川産米120kgを宮崎理事長兼学長に贈呈されました。

社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会様から会津大学生への寄附について



2020年7月21日、学生生活支援寄附金の贈呈式が行われ、会津若松市社会福祉協議会会長の武藤淳一様から宮崎理事長兼学長に寄附金が贈呈されました。

寄附金は、新型コロナウイルスの影響などにより、経済的な面で学生生活に不安を抱える本学学生を支援するために活用させていただきます。

会津大学では、2020年6月1日からWeb上で「第5回会津大学ロボットシンポジウム」を開催しています



本学は、2015年度から県内外の企業や研究機関等と連携してロボットに関する研究開発を進めており、2018年度からの第2期では、複数のロボットシステムをインターネット回線で結ぶことでより大きな機能を実現する「クラウドロボティクス」の技術開発を進めてきました。

2019年度は、ロボットから得られる大量のデータを活用する「ロボットデータレポジトリ」に基づいたソフトウェアを、ロボットに実装しての実験や動作検証の研究成果や、ロボット関連技術の普及を目指して優れたエンジニアの育成事業の取り組みを御紹介しています。

2020年度Open App Labキックオフミーティングを開催しました



2020年6月17日にOpen App Labの2020年度キックオフミーティングをバーチャルの会場で開催しました。

Open App Labは、会津大学生が企業、地域の方と協力して「とにかくつくる、世の中にだす」ことを理念に活動する実践的なスキル獲得の場です。キックオフミーティングでは、本学の事業紹介に加えて学生による自発的な研究や開発、活動を発表いただきました。

日本初のデジタル地域通貨「Byacco/白虎」のオープニングセレモニーが行われました



会津大学の学生食堂と売店に導入された日本初のブロックチェーン技術を用いたデジタル地域通貨「Byacco/白虎(びゃっこ)」のオープニングセレモニーが2020年7月9日学生ホールで行われ、本学の宮崎敏明理事長兼学長、会津若松商工会議所会頭 澁川恵男様、スチューデントライフサポート代表取締役社長 照島敏明様、会津大学客員教授兼AiYUMU取締役 藤井靖史様、ソラミツホールディングス代表取締役CEO 武宮誠様がテープカットを行いました。

2020年度秋季博士論文発表会が行われました



2020年7月15日、今年度は大学院コンピュータ理工学研究科で学んだ2名が、博士学位取得を目指して取り組んだ研究成果を発表しました。

2名は博士学位取得者として紹介された後、それぞれ博士論文の発表に臨みました。集まった教職員、在学生らは、研究成果の集大成である発表に耳を傾けていました。

取得者氏名	指導教員	博士論文題目
ラヒム ムハンマド アブドゥル	シン ジュンピル 教授	「機械学習テクノロジーを用いた人間とコンピュータの相互作用のためのハンドジェスチャーベースの非接触インターフェイス」
チャン ティ タイン フェン	チョオンコンタン上級准教授	「バーチャル・リアリティ・コンテンツの品質評価と改善」

